

4人のラグーマン 全国大会出場！

12月27日から1月8日にかけて「第90回全国高等学校ラグビーフットボール大会」が、大阪府の近鉄花園ラグビー場を主会場に行われ、松崎渉さん（山崎・深谷高3年）、猪俣一樹さん（用土9・同3年）、内野卓洋さん（上組・同2年）、葛野翔太さん（上の原・同1年）が出場しました。

深谷高校は2回戦まで順調に勝ち進みましたが、3回戦で伏見工業高（京都府）に15対65で敗れ、ベスト16という結果でした。

松崎さんは「昨年までは応援する立場での参加でしたが、今回は選手として出場することができ、うれしかったのと同時に、とても貴重な経験ができてよかったです」、猪俣さんは「チーム目標であるベスト8は達成できませんでしたが、もうひとつの目標である“年越しまで勝ち進む”が達成できたのでうれしく思います」、内野さんは「埼玉県代表の高校としてベスト16まで勝ち抜きましたが、伏見工業戦では全国レベルを肌で感じることができ、よい経験となりました。今から、今年の全国大会出場へ向けてスタートします」、葛野さんは「小・中学校時代は柔道とサッカーをしていて、ラグビーは高校から始めました。公式戦初出場初先発が花園で自分自身驚きました。この貴重な経験を生かしてこれからもがんばります」と、それぞれ話してくれました。



猪俣さん



松崎さん



葛野さん

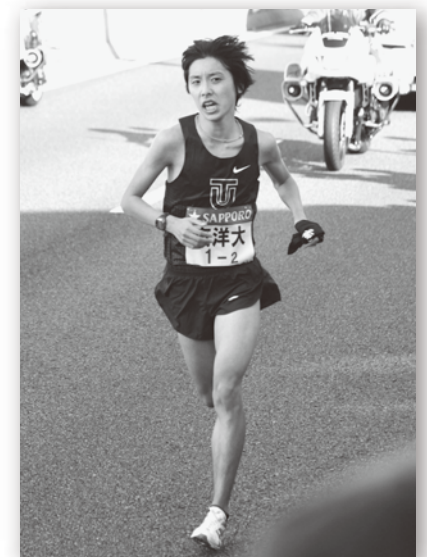


内野さん

3人のランナーの力走により 往路優勝！

「第87回東京箱根間往復大学駅伝競走大会（箱根駅伝）」が、1月2日と3日に千代田区大手町をスタート・ゴールとする10区間、217.9kmのコースで行われ、宇野博之さん（塚越・東洋大3年）、設楽啓太さん（赤浜・同1年）、設楽悠太さん（同）が出場しました。3人は往路で活躍。第2区（23.2km）設楽啓太さん、第3区（21.5km）設楽悠太さん、第4区（18.5km）宇野さんと、寄居町出身の選手でタスキをつなぎ、東洋大学の往路優勝に貢献しました。

宇野さんは「個人としても、チームとしても満足の行くような結果が残せなかったことが残念です。来年は総合優勝に貢献する走りをしたいです。最後に、たくさんの方の応援をありがとうございました」、設楽啓太さんは「集団が見える位置だったので、1つでも順位を上げられるよう走りました。ほぼ目標タイムで走りましたが、ラスト3kmがきつく、坂で粘ることができませんでした。ですが、兄弟でのタスキリレーができて本当にうれしいです」、設楽悠太さんは「初めての箱根駅伝は、沿道の応援が多くて緊張しました。兄からタスキを受け取り、自分もやってやるという気持ちで走りました。目標タイムに届かなかったのは悔しかったですが、尊敬する先輩にタスキを渡せてよかったです」と話してくれました。



設楽啓太さん



右 宇野さん



設楽悠太さん